

平成23年度
第1回稲毛区公民館運営審議会議事録

- 1 日 時 平成23年5月25日(水) 午後2時～4時
- 2 場 所 小中台公民館(講堂)
- 3 出席者 (委員 12人)
地引 昌子委員長 青柳 典子副委員長 安川 信一郎委員
佐々木 美智子委員 周東 ひさ子委員 藤川 勇委員
太田 きぬ子委員 宮野 勝子委員 瓜生 澄江委員
種池 賀子委員 菊池 まり委員 飛鳥井 航一委員
(事務局 11人)
板倉館長、宮原副館長(小中台) 平野館長(黒砂) 倉原館長(轟)
反町館長(稲毛) 中川館長(千草台) 小川館長(草野) 鶴沢館長(山王)
首藤館長(都賀) 鈴木館長(緑が丘) 池田主任主事(緑が丘)

4 会議次第

- (1) 開 会
- (2) 委員長あいさつ
- (3) 小中台公民館長あいさつ
- (4) 議 題
 - ①平成22年度 稲毛区公民館利用状況について
 - ②平成23年度 各公民館事業計画について
 - ③その他

5 議事の概要

- (1) 平成22年度 稲毛区公民館利用状況について
各公民館の利用状況を事務局から一括説明した
- (2) 平成23年度 各公民館事業計画について
各館長から順次、23年度の事業について説明した
- (3) その他

6 会議経過

- 事務局 定刻となりましたので、始めさせていただきます。
- 副館長 4月の人事異動に伴いまして、二名の運営審議委員さんの交代がありましたので、新任委員さんの紹介と委嘱状の交付を行います。
- 中核館長 新任委員に委嘱状の内容を読み上げ交付する。(1人 欠席)
- 新任委員 新任委員自己紹介。終了後引き続き中核館長より、事務局側の新任館長他職員の紹介。
- 委員長 地引委員長あいさつ
- 中核館長 板倉館長あいさつ
- (定足数報告)
- 事務局より出席委員12人、欠席委員2人(碓 茂樹委員、森脇 清委員)をもって、会議は成立することを説明。
- (議事署名人の選出)
- 委員長より、菊池委員、飛鳥井委員を指名。
- (地引委員長が議事を進行)
- 委員長 それでは、お手元の次第に沿って進めさせていただきます。
限られた時間内での審議ですので、よろしく審議のほどお願いします。
議題(1)平成22年度稲毛区公民館利用状況について。事務局から説明をお願いします。
- 副館長 議題(1)平成22年度稲毛区公民館利用状況について一括説明。
9公民館の会館日数、利用人数、利用時間帯別人数及び内訳等。
5公民館図書室の蔵書数、登録者数、貸出冊数、リクエスト件数等を報告。また、今年度に限り、国より地域活性化交付金100万円が、図書購入費として、各公民館図書室に配布される。
- 委員長 次の議題(2)平成23年度各公民館事業について、事務局から説明をお願いします。
- 事務局 小中台公民館長、黒砂公民館長、轟公民館長、稲毛公民館長、千草台公民館長、草野公民館長、山王公民館長、都賀公民館長、緑が丘公民館長から各館の事業計画について説明。
- 委員長 以上で各公民館の説明が終わりましたが、議題(1)、(2)について、何か質問等ありましたらお願いします。
- 委員 黒砂公民館の子ども向けの主催事業の中にある防災訓練について、どのような内容の訓練を計画しているのか?
- 事務局 この度の東日本大震災の事も踏まえまして、身元の確認、避難誘導、避難場所に於いての設置訓練などを主に重点的に行う予定です。また、この訓練には、地域の自治会も同時に参加する。この事業を通して、こどもたち

の防災に対する意識の高揚を図る事も目的としている。

委 員 黒砂・轟・稲毛公民館で行われる子供向けの企画は、継続性がありとても意義がある講座と思われる。それらの講座に係わるスタッフの育成やその後の活動はどのようになっているのか？

事務局 複数回の講座を通して、参加している子供たちに色々と考えてもらい、自主性を発揮させられるような内容で取り組んでいる。また、講座の卒業生の中から、次回以降の講座受付案内や掃除等のお手伝いをしてもらうなどして、次の世代の子供たちに引き継がれている。将来子供たちが大きくなった時に、ボランティア精神を持ち、またこの様な指導者に育って行ってくれば良いと思っている。

委 員 地域の課題などについて、公民館と地域の人たちが一緒になって考えて事業を進めて行くことはどのくらいあるのか？

事務局 地域団体との連携や共催については、各公民館においてもそれぞれ地域と協力し合った事業を進めています。小中台公民館を例にとりますと、クリスマスコンサートは社会福祉協議会、新春凧揚げ大会は育成委員会などと一緒に協力をし合って事業を行っています。市長の考えとして、地域の皆さんと一緒に行政を進めていくとなっておりますので、今後も公民館長や職員については地域の皆さんの所に足を運び、いろいろな話をしていろいろな事業を進めて行きたいと思えます。

委 員 都賀公民館では、社会福祉協議会が行っている地域の敬老会で、公民館のクラブが発表や展示をしたりして、公民館と地域住民との交流を図っている。

委 員 過去には年に数回、稲毛区全体としての事業があったが、今は予算的な問題や色々な背景があり、地区館がそれぞれ個別で事業を行う事が中心となっている。事業の中には、子育てや防災に関する事業など、その地域だけでなく、市又は区全体での連携が大切になってくる講座などもあるのではないかと。今後の稲毛区公民館としての、事業あり方が問われる時期になってきたのではないかとと思う。

委 員 子育てに関する講座やボランティアに関する講座など、昨年以上に意欲的に取り組んでることが感じられます。また、防災に関しての講座は、公民館の役割と言う事も含めて、是非次年度も続けて欲しい。

稲毛公民館で行われている浅間まんじゅうづくりについて、地域の中にある文化遺産に誇りをもってやっている講座も大事なことと思う。この講座について、教えて頂きたい。

事務局 浅間神社の祭りなどに際し、公民館に所属しているサークルが、伝統に基づき浅間まんじゅうを作り、提供している。メンバーは地元の商店街の人

や、大学生が中心となって活動しており、今ではこの講座の評判が広まり、地域外の人達も多く参加してくるほどの人気講座となっている。

委員 先日起きた大地震の時、JR稲毛駅が避難場所として公民館へ誘導する案内のチラシを配布していたところ、千葉市はその事について知らなかったと聞いていますが、災害時において市の総合防災課との連絡体制や、またその時の公民館職員の対応はどの様になっているのか？また、今の公民館のあり方について、利用している人達がここ何十年も同じ人が占有的に利用している傾向がみられ、新しい人達がなかなか使えない状態になっているのではないかと？

事務局 災害時について、公民館は避難場所となっているので、どんな状況であっても避難者が来れば受け入れる体制をとることになっている。収容人数が多くなった時は、近くの学校を紹介する場合もある。総合防災課の指示等が特に無くても、公民館職員は災害時には避難所の業務に当たることになっている。

公民館利用者の占有的な利用については、昔から長く使っているサークルもあるが、何か大きな行事や自治会の会議などあれば、部屋を空けてもらったりして協力を頂いている。また、利用者の高齢化も進み、次の若い世代の人が引き継いでいる流れもあるので、利用者の新陳代謝は行われていると思われま。

委員 事業を通して絆づくりを図るには、縦の関係だけではなく、横の関係、斜めの関係など、その事業の目的に向かってボランティアの人や地域の人など、それに携わるいろいろな人達の繋がりがあって良い事業が成り立つことが分かった。

委員 昨年に実施された公民館利用アンケートの結果に基づき、公民館の利用のあり方などについて、今後この運営審議会で話し合いを進めて行く事は可能か？

事務局 話し合いをしていただくことは結構なことと思います。しかし、こちらは区の審議会になりますので、市全体に係わる事項については決定権がないため教育委員会の方に話を持っていくこととなります。また、公民館利用のあり方については、アンケートの結果を見ながら、教育委員会事務局でも現在検討されているところだと思われま。

副委員長 他になければ、終了とさせていただきます。

委員長 皆様のご協力によりまして、本日の案件はすべて承認されました。

(問合わせ先) 所管課：千葉市教育委員会生涯学習振興課

電 話：小中台公民館 2 5 1 - 6 6 1 6